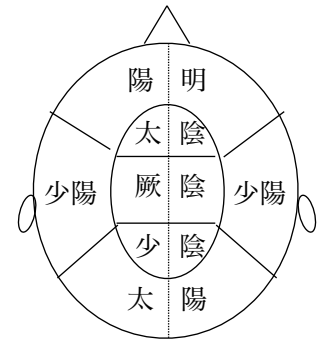


[11] 頭刺は、足甲の痛みや過敏症候群に

(1) 足甲の痛みや過敏症状に頭に刺鍼

- ① 足の甲の「遠く」として、頭を使う
- ・ 右足なら頭の右側、左足なら頭の左側
 - ・ 足甲の陽経側なら、頭にハチマキを巻く辺り
2-3間：陽明、3-4間：少陽、4-5間：太陽
 - ・ 足甲の陰経側なら、頭にハチマキを巻く所より頭頂側
ほとんど厥陰だが、前よりは太陰、後ろよりは少陰
- ② 過敏状態を鎮めるために頭に刺鍼
痛みを訴える所と経絡的關係=立ち姿勢で天から見て重なる所



頭を天から見た時の
担当経絡分布

(2) 足甲の痛みの頭刺による応急処置

↓	症状確認	・ 痛む所との経絡的な相関から、頭のツボ探し
↓	手甲引鍼	・ 陽経なら、経絡的に関係する手甲のツボに引き鍼 陰経なら、表裏反対側の陽経の手甲に刺鍼した後に、陰経の手首あたりに引く
↓	頭刺	・ 頭のツボに刺鍼しながら運動鍼 患部を動かし痛みが残っていたら、関係する頭のツボに刺鍼しながら運動鍼
↓	手甲引鍼	・ 後始末として、手甲のツボに引き鍼

(3) 過敏症状の頭刺による応急処置

↓	症状確認	・ 患部の天から見た位置を参考に、頭のツボ探し
↓	手足甲引鍼	・ 患部に経絡的に相関する手足甲のツボに引き鍼
↓	頭刺	・ 頭の熱い所が有れば散鍼してから 選んだ頭のツボに刺鍼した後に、横刺で置鍼
↓	患部+α	・ 患部や患部と経絡的に相関するラインに刺鍼+動作鍼など
↓	頭から抜鍼	・ 頭に置鍼していた鍼を抜鍼
↓	後始末	・ 頭に散鍼してから、手甲に引き鍼